

パプリカ栽培の試験施設に

施設の有効活用を検討していた旧三浦小学校の跡地を、広島市の企業にパプリカなどの試験栽培技術の研修施設として貸し出すことが決まり、9月10日、進出協定の調印式が行われました。



▲リジョー(株)の藤井会長(写真左)と握手を交わす椎木町長

協定の相手方は、広島市に本社のある総合物流業者のリジョー株式会社で、同社は以前からパプリカ栽培に着目。栽培方法や流通、コスト面などの研究を進めてきました。このたびの計画では、運動場に約1400平方メートルのビニールハウス1棟を設置し、全自動で養液を与える装置を用いて、パプリカなどの試験研究・栽培試験・技術研修施設として運用します。また、校舎の一部を管理スペースとして活用します。

パプリカはピーマンや唐辛子の仲間、肉厚で甘みを多



▲ビニールハウスが設置される旧三浦小学校

く含み、赤や黄色などの鮮やかな色の特徴。国内で流通しているのが現状で、今回設置される施設で、コスト面や生産技術の研究を進め、本格的な生産に向けて新たな生産者の育成が期待されます。

在宅医療講演会を開催しました

9月12日、大島文化センターにおいて、在宅医療講演会を開催し、在宅医療に関わる医療・介護・福祉・保健などの関係者260名の参加がありました。

山口県健康福祉部 岡紳爾部次長が「山口県の在宅医療の動向と地域医療構想について」



▲岡 紳爾 部次長 ▲守田知明 先生



▲講演会の様子

て、周東総合病院名誉院長 守田知明先生が「地域連携に対する取り組みと今後の課題」在宅医療推進を指して」と題して講演されました。誰もが住み慣れた地域で安心して元気に暮らすためには、在宅医療の推進が必要であり、顔の見える地域連携を目指して取り組むことの大切さについて話されました。

パブリックコメント(意見募集)を実施します

次の2件についてパブリックコメント(意見募集)を実施します。

■パブリックコメントの対象

- 「周防大島町まち・ひと・しごと総合戦略(案)」
- 「周防大島町人口ビジョン(案)」

■パブリックコメントの閲覧方法

各総合支所窓口、政策企画課および周防大島町ホームページで閲覧できます。

■意見の提出方法

意見を提出しようとする方は氏名、住所を明記の上、次の方法により行ってください。

(1)郵送または持参による提出

- 〒742-2192
- 周防大島町大字小松126番地2
- 周防大島町役場政策企画課

(2)ファクシミリによる提出

- FAX 0820(74)1015

(3)電子メールによる提出

- seisakukikaku@town.suo-oshima.lg.jp

■提出期限 11月4日(木)午後5時まで

■問い合わせ 周防大島町総務部政策企画課

- ☎0820(74)1007

9月・10月は

「産業廃棄物適正処理推進期間」です

廃棄物の不法投棄・野焼きを見かけた方はお知らせください。

〈不法投棄ホットラインフリーダイヤル〉

- ☎0120(538)710

※携帯電話からも利用できます。

〈不法投棄ホットラインメールアドレス〉

- fuhotoki.hotline@pref.yamaguchi.lg.jp

■問い合わせ

- 周防大島町生活衛生課
- ☎0820(79)1012
- 柳井健康福祉センター
- ☎0820(22)3631

密輸に関する情報提供を!

税関では「薬物および銃器取締強化期間」(10月31日(土)まで)として、不正薬物(麻薬・覚せい剤など)や、けん銃などの社会悪物品の水際取締強化を実施しています。

密輸に関する「不審な話」や「うわさ」を耳にしたら税関に連絡をお願いします。

■密輸フリーダイヤル

- ☎0120(461)961

■問い合わせ 岩国税関支署

- ☎0827(21)7138